報道発表資料

2022 年 12 月 12 日
公益財団法人 日本漢字能力検定協会

全国 223,768 票の応募の結果、今年の世相を表す漢字一字が決定！

2022 年「今年の漢字®」第1位は「戦」

～「戦（セン／いくさ・たたかう・おののく・そよぐ）」が表す 2022 年とは～

公益財団法人 日本漢字能力検定協会（本部：京都市東山区／代表理事：山崎 信夫）は、皆様に漢字の奥深さと意義を再認識していただくための活動の一環として、毎年年末に今年一年の世相を表す漢字一字とその理由を全国から募集し、最も応募数の多かった漢字を、京都・清水寺の森清範貫主（せいはんかんす）の揮毫（きごう）により発表し、奉納の儀式を行っていただいています。

本年も、11 月 1 日（火）から 12 月 5 日（月）までの期間、2022 年の世相を表す漢字一字とその理由を全国から募集した結果、223,768 票（※昨年 2021 年は 223,773 票）の応募をいただき、「戦」が 10,804 票（4.83%）を集めて、2001 年以来 2 度目の第 1 位となりました（2 位以下詳細は 2 ページ目に記載）。

ロシアのウクライナ侵攻により、「戦」争の恐ろしさを目の当たりにした一年
円安・物価高による生活上での「戦」い、スポーツでの熱「戦」・挑「戦」も注目された

- **ウクライナ侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射などにより「戦」争を意識した年**
  2 月から現在まで続く、ロシアによるウクライナへの侵攻は、世界に大きな衝撃を与えた。さらに北朝鮮による相次ぐミサイル発射などにより、多くの人が「戦」争への恐怖や不安を感じた。
- **円安・物価高・電力不足や感染症など、生活の中で起きている身近な「戦」い**
  記録的な円安、原油などの価格も高騰。それに伴った急激な物価高や電力不足との「戦」いを、多くの人が日々の生活の中で体感した。また、新型コロナウイルスとの「戦」いも、今なお続いている。
- **サッカーW 杯や北京冬季五輪での熱「戦」、野球界での記録への挑「戦」に関心が集まる**
  サッカーワールドカップでは日本代表が強豪国を撃破。北京五輪では、冬季歴代最多の 18 個のメダルを獲得するなど、世界的な大会で熱「戦」が繰り広げられ、日本中が沸いた。野球界では、村上宗隆選手の日本人最多本塁打や、佐々木朗希投手の最年少完全試合、大谷翔平選手の 2 桁勝利 2 桁本塁打など、記録への挑「戦」も注目を浴びた。

（応募者が「戦」を選んだ理由の概要）

戦（セン／いくさ・たたかう・おののく・そよぐ）

意味 ①たたかう。たたかい。（ア）いくさ。「戦争」「戦闘」（イ）試合。競争。「舌戦」「熱戦」
②おそれおののく。ふるえる。そよぐ。「戦慄（センリツ）」

（（公財）日本漢字能力検定協会発行 『漢検 漢字辞典 第二版』・Webサイト「漢字ペディア®」より）

2022 年「今年の漢字®」トップ 20

ロシアによるウクライナ侵攻や、安倍元首相銃撃事件、日々の生活の中で直面する急激な円安や物価高の影響など、多くの人に不安を与えた出来事により、1 位「戦」、2 位「安」に多くの票が集まり、上位もそれに関連する「高」「争」「命」「悲」などの漢字が並びました。

過去 2 年と比べると、コロナ禍を象徴する漢字は減少し、「楽」「幸」「旅」など明るさを感じさせる漢字もランクインしました。終息は見えないものの、全国旅行支援も 10 月から開始されるなど、様々な制限が緩和され、旅行やイベントを楽しみ始める様子がうかがえました。

1 位	「戦」（セン／いくさ・たたかう・おののく・そよぐ）	10,804 票(4.83%)
2 位	「安」（アン／やすい・やすんじる・いずくんぞ）	10,616 票(4.74%)
3 位	「楽」（ガク・ラク・ゴウ・ギョウ／たのしい・たのしむ・かなでる・このむ）	7,999 票(3.57%)
4 位	「高」（コウ／たかい・たか・たかまる・たかめる）	3,779 票(1.69%)
5 位	「争」（ソウ／あらそう・いさめる）	3,661 票(1.64%)
6 位	「命」（メイ・ミョウ／いのち・おおせ・みこと）	3,512 票(1.57%)
7 位	「悲」（ヒ／かなしい・かなしむ）	3,465 票(1.55%)
8 位	「新」（シン／あたらしい・あらた・にい・さら）	3,070 票(1.37%)
9 位	「変」（ヘン／かわる・かえる）	3,026 票(1.35%)
10 位	「和」（ワ・オ・カ／やわらぐ・やわらげる・なごむ・なごやか・なぐ・あえる）	2,751 票(1.23%)
11 位	「円」（エン／まるい・まどか・つぶらか・まろやか）	2,739 票(1.22%)
12 位	「幸」（コウ／さいわい・さち・しあわせ・みゆき）	2,410 票(1.08%)
13 位	「勝」（ショウ／かつ・まさる・すぐれる・たえる）	2,394 票(1.07%)
14 位	「平」（ヘイ・ビョウ・ヒョウ／たいら・ひら）	2,275 票(1.02%)
15 位	「壺」（コ／つぼ）	2,262 票(1.01%)
16 位	「二」（ニ・ジ／ふた・ふたつ）	2,236 票(1.00%)
17 位	「金」（キン・コン／かね・かな・こがね）	2,021 票(0.90%)
18 位	「乱」（ラン・ロン／みだれる・みだす・みだりに）	1,969 票(0.88%)
19 位	「死」（シ／しぬ）	1,923 票(0.86%)
20 位	「旅」（リョ・ロ／たび・いくさ）	1,787 票(0.80%)

2021 年、2020 年「今年の漢字」トップ 20

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
2021年	金	輪	楽	変	新	翔	希	耐	家	病
2020年	密	禍	病	新	変	家	滅	菌	鬼	疫
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
2021年	明	結	禍	五	密	幸	復	苦	勝	命
2020年	粛	染	耐	感	命	離	災	苦	休	悲

2022 年「今年の漢字®」に「戦」を選んだ理由

※応募者の記述をご紹介します。

◆ ウクライナへロシアが侵攻し戦争へ。コロナ感染症との戦い、温暖化対策対立の戦い、サッカーワールドカップでの戦いなど、国内外とも戦いの連続である。（東京都／83 歳）

◆ いまだに収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染拡大と人々は日々戦っています。また、ウクライナ戦争、元首相銃撃など暗いニュースが相次ぎました。一方、プロ野球佐々木朗希選手、MLB 大谷翔平選手の戦う姿に感動と勇気をいただきました。（宮城県／73 歳）

◆ やっぱりロシアの軍事侵攻という戦い、今年も続いているコロナとの戦い。そして、ロシアの蛮行による石油や小麦などの価格高騰による物価高との戦い。戦いに明け暮れている今年を象徴して「戦」を選びました。（滋賀県／67 歳）

◆ 今年は、ロシアとウクライナの「戦い」に胸を痛め続けました。そして、今年の終わりは、サムライブルーの「諦めない戦い」に、胸を熱くしています。どうぞ戦いはスポーツの世界だけでありますように。（千葉県／66 歳）

◆ 戦争がそこにあることを、初めて実感してしまった悲しい一年でした。昔、祖母が戦争の話をするのがいやだったのですが、もっときちんと聞いておかなければならなかったと思っています。戦う、争う。古来より続く悲しい人間の性（さが）はどうやって収めたらいいのでしょうか。（埼玉県／62 歳）

◆ この平和な時代にウクライナとロシアの戦争が起こったことに、驚きと憤りと怒りと悲しみが沸きました。何も出来ない自分にも憤りを感じています。早く戦争が終わってほしいと願うばかりです。戦という漢字は、できれば今後は出てきてほしくないです。（愛媛県／61 歳）

◆ 今年は2月のロシア軍のウクライナ侵攻により、戦争の恐ろしさを目の当たりにしました。同じ2月には、冬季五輪でのメダルをかけた選手たちの戦い、藤井聡太氏の五冠獲得と、素晴らしい戦いも目にすることができました。現在もコロナウイルスや物価高との戦いは続いています。そこで「戦」という漢字を選びました。（北海道／58 歳）

◆ ロシアのウクライナ侵攻では身近に戦争の恐ろしさを感じ、石油、小麦の高騰など生活にも影を落としています。コロナとの戦いも続いています。でも、最近はワールドカップのサッカー日本代表の戦いに元気をもらっています。（愛媛県／55 歳）

◆ ロシアとウクライナの戦争。北朝鮮や中国の挑発による戦争の危機。新型コロナ、物価の値上げとの戦い。プロ野球日本シリーズ、北京冬季五輪、サッカーワールドカップの熱戦。ヤクルト村上選手の本塁打、ロッテ佐々木投手の連続奪三振など新記録への挑戦。サッカーワールドカップでは、日本が決勝トーナメント進出。ベスト 8 への挑戦が続きます。来年は、「協調」、「協力」の協が上位に入ることを願います。（兵庫県／49 歳）

◆ ロシアとウクライナの戦争があり、ニュースでは戦争の恐ろしさを語っていた。あってはならないことと改めて感じた。また北京五輪では金メダルに挑戦する平野歩夢選手がいた。野球では大谷選手や、村上選手たちが記録に挑戦していた。サッカーワールドカップでは接戦を繰り広げ日本代表が戦っている。スポーツで平和な世界を取り戻したい。（新潟県／48 歳）

◆ 冬季オリンピックで「戦」って最多のメダル数取得、将棋の藤井聡太棋士が苦「戦」の結果、初の 10 代での五冠。ウクライナとロシアの「戦」争、参議院選挙の激「戦」、旧統一教会問題で悪「戦」苦闘続きの国会。（静岡県／44 歳）

◆ 今年は、ロシアとウクライナの戦争や、それに伴った原油高、物価高騰などから家計を守るための戦い、平和な日常を守るために戦う毎日だったから。嬉しい戦いでは、サッカーワールドカップで、格上のドイツに金星をあげた日本代表の勇ましい戦い方から、「戦」を選びました。　（栃木県／41 歳）

◆ オリンピック、日本シリーズ、サッカーワールドカップ等スポーツの戦い。ロシアとウクライナの戦争。11月、12 月は物価高騰による懐の寒さと、エネルギー、電力不足による寒さとの戦い。
（埼玉県／41 歳）

◆ 長引くコロナとの戦い、冬季オリンピックで日本選手の白熱した戦い、ウクライナとロシアが戦争、スポーツ観戦の制限が緩和、夏の甲子園で下関国際が力戦奮闘、仙台育英が激戦、安倍元首相が銃撃され日本だけでなく世界も衝撃の事件に戦（おのの）くなど様々な「戦」があった。　（山口県／37 歳）

◆ やはり最大の出来事は、ロシア・ウクライナを中心とした戦争である。未だに終結に至らず、世界各地で不安定な状況が続いている。また、沖縄の本土復帰から 50 年の今年は、沖縄戦について再認識する年でもあった。私自身も中学校時代に行った沖縄修学旅行で、戦争の悲惨さや何気ない日常のありがたさについて学習したことを思い出した。一日も早く世界で戦争が全てなくなり、安心して過ごせるようになることを祈り、選択した。　（青森県／30 歳）

◆ ウクライナでは戦争が起こり、日本では銃撃事件が起こるなど暴力との戦いが起こった。スポーツでは北京オリンピック、サッカーワールドカップの開催、プロ野球の完全試合、大谷翔平選手が 2 桁勝利 2 桁本塁打などスポーツで戦う印象的な出来事が多くあった。また、コロナとの戦いは今年も続いたことなどから。　（東京都／24 歳）

◆ ロシアのウクライナ戦争の印象が強かったこと。今年も新型コロナウイルスと戦い続けた国民が多かった。また、ワールドカップでの日本代表の戦い、26 年ぶりの日本一を達成したオリックスの戦い、56 号を放った村上宗隆選手の戦う姿にも感動をもらったから。　（大阪府／21 歳）

◆ ロシアによるウクライナ侵略。北朝鮮のミサイル乱発。電力不足との戦い。北京オリンピック。参院選。
（海外／17 歳）

◆ ロシアのウクライナ侵攻、夏の高校野球東北勢初優勝、ワールドカップドイツ戦突破など様々な戦いが繰り広げられたから。　（宮城県／17 歳）

◆ 北京五輪日本過去最多メダル 18 個、藤井聡太棋士 10 代初の五冠達成、仙台育英の甲子園優勝、ウクライナ侵攻、サッカー日本代表ドイツ戦に勝利など…今年は様々な戦いがあり、いい意味でも悪い意味でも人々の心に残る戦いの一年だったと思います。　（宮城県／16 歳）

◆ コロナにかんせんしたかんじゃさんを病院の人たちが病気を治すために病気と戦っているということと、ウクライナとロシアが戦争していることもあって、「戦」という漢字にしました。　（東京都／10 歳）

2 位から 10 位までの漢字を選んだ理由

2位「安」を選んだ理由

円「安」と国際情勢の影響を受け、物価が高騰し生活を直撃。また、「安」倍元首相銃撃事件や、ロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮によるミサイル発射、知床での観光船事故など、「安」全・「安」心が脅かされ、不「安」を感じた一年。明るい話題として、サッカーW 杯で活躍した堂「安」律選手の名前も。

◆ 安倍晋三元首相の暗殺は日本国の治安、安全を根底から覆す事件だった。安全、安心、治安の問題が議論の対象となった。世界的にもロシアのウクライナへの侵略は安全、安心に対する大きな問題提起でもあった。日本はもちろん世界的にも、円安は大きな問題、関心事となった。（佐賀県／77 歳）

◆ 安倍晋三元首相の銃撃事件、ウクライナ侵攻、北朝鮮により世界中の人々の安心、安全が脅かされた。社会は円安や物価上昇に悩まされ、コロナ感染拡大により不安が拡大、多くの濃厚接触者・軽症者が自宅で安静を余儀なくされた。中国・香港では公安により治安が脅かされた。このように「安」のつく熟語に代表される一年であった。（東京都／62 歳）

◆ 今年は大きく二つの出来事がありました。一つは、参議院選挙の投票日直前に起こってしまった安倍元総理への銃撃事件。民主主義国家であってはならない事件が起こり、人々は不安に。もう一つは、ロシア軍によるウクライナ侵攻。原料価格も高騰し、不安が高まった。北朝鮮による度重なるミサイル発射に、J アラートが鳴る回数も増え、安全保障の議論も活発化。（山口県／55 歳）

◆ 加速する円「安」、「安」倍元総理銃撃事件、ウクライナ侵攻などの不「安」定な社会情勢、「安」全保障政策の転換、堂「安」律選手らの活躍によるワールドカップ日本代表の快進撃…から「安」を選びました。（栃木県／42 歳）

◆ ウクライナ・台湾情勢の不安定化、記録的な円安、安倍晋三元首相銃撃事件、知床遊覧船沈没や幼稚園バス置き去りなど安全管理問題に共通しているため。（神奈川県／39 歳）

◆ 安倍元首相の銃撃がやはり一番印象に残る年だと思う。また歴史的な円安を経験する年だった。更に国内では通園バスの放置事故や KAZUⅠ（カズワン）の事故、国外では韓国梨泰院事故やインド橋崩落など安全面への配慮の必要性を再確認した。（奈良県／35 歳）

◆ 安倍元首相の暗殺事件、歴史的な円安、ウクライナ危機や北朝鮮のミサイルによる国内外の安全への懸念が深まった一年だったことから、「安」を選びました。（東京都／27 歳）

◆ ロシアのウクライナ侵攻や「安」倍元首相の狙撃事件などで「安」全が脅かされた年であった。さらには、円「安」の進行によって家計の「安」定も揺らいだ。一方で、全国旅行支援等によって「安」く旅行できるようになり、観光業の復興に向けて新たな一歩を踏み出した年でもあった。（北海道／21 歳）

◆ この 2022 年は円「安」の状況が長く続いており、その中で「安」倍晋三元首相も銃撃によりお亡くなりになられました。ウクライナ侵攻により日本の「安」全保障の重要性も国民に認識されるような状況になり、W 杯では堂「安」選手が大活躍を見せています。2022 年はこの「安」という字を今年の漢字にすることがふさわしいと思います。（大阪府／17歳）

3位「楽」を選んだ理由

行動制限が緩和され、10 月からは全国旅行支援がスタート。新型コロナウイルスの感染者数は依然増減を繰り返しているものの、旅行やイベントなど「楽」しいことが昨年以上に増えたと感じる人が多かった一年。「楽」しさを提供するテーマパークのオープンも話題になった。

◆ 今年も日本でも世界でもいろいろな事がありました。それを考えると楽しむことは出来ませんが、ジブリパークの開園をみて、少しでも多くいいことがあればと思い、楽という漢字を考えました。
（岐阜県／67 歳）

◆ 旅行やレジャーなどに以前のように少しずつ気軽に行けるようになって、その過程を楽しめたこと。また、気が楽になったことから選びました。（愛知県／50 歳）

◆ コロナ禍もまだまだ続いていますが、今年はようやく行動制限が緩和されて、旅行や各地でのイベントも開催されてきていて、ようやく楽しい事が増えてきたように思えます。とにかく今まで我慢してきたので、行動制限緩和で心から楽しめる事が増えました。楽しみが増えると笑顔も増える、今年はこれで決まり。（栃木県／36 歳）

◆ 今年もコロナ感染拡大の影響を受けたものの、去年以上に楽しいことが増えてきたから。3 年ぶりに行動制限のない GW や夏休み、夏祭りなどのイベントの再開、全国旅行支援による旅行への前向きな検討など、コロナ前の楽しみが少しずつ復活してきたと思う。来年はコロナ前の日常に更に近づき、今年以上に楽しいことが増えて幸せいっぱいの一年を過ごしたいと強く願い、この一文字を推薦した。
（青森県／30 歳）

◆ コロナもあったけど、今年は行事が去年、一昨年より多く、また行事の内容自体も濃くて楽しかったと思うから。あとは、小学校最後だからと全て思いっ切り楽しんだから。残りの時間も全力で楽しみたい。
（東京都／12 歳）

4位「高」を選んだ理由

原油価格や原材料の「高」騰、さらに円安による物価「高」を生活の中で感じることが多かった一年。「高」校野球では仙台育英高校が東北勢で初優勝したことも大きな話題となった。

◆ ロシアのウクライナ侵攻による石油や天然ガスの高騰、米国の利上げによる円安で、消費者物価が高騰している。（兵庫県／77 歳）

◆ 何といってもドル高などに起因する光熱費・物価高。コロナ感染者数の高止まり。高校野球で仙台育英が東北勢で初 V。（広島県／59 歳）

◆ 今年、高校野球で、東北に初めて優勝旗が来たこと、物価の高騰が続くこと、気温が高かったこと、高齢者の事故が多かったこと、などの理由で「高」を選びました。（宮城県／41 歳）

◆ 物価「高」騰、円安ドル「高」、水道光熱費が「高」い、なにかを手配するにも「高」い、と日々の暮らしで「高い」と思うことも口にすることも非常に多い一年だったため。（富山県／32 歳）

◆ 物価高がよくニュースなどでも取り上げられているし、実際にお父さんやお母さんがスーパーで買い物をしているときに「値段が上がっているな」と言っていて身近に感じたからです。
（東京都／12 歳）

5位「争」を選んだ理由

ロシアとウクライナの戦「争」、北朝鮮のミサイル発射、安倍元首相の国葬についての議論など、国や国民の間での「争」いが多かったと感じる一年。

◆ ロシア、ウクライナ、北朝鮮と世界の国々で今年一年は争いが絶えなかった。来年は穏やかな一年であることを祈って。（千葉県／82 歳）

◆ ウクライナとロシアの戦争、旧統一教会と被害者との争いの表面化、中国の台湾問題とアメリカの介入など、争いの多い年になったと思います。（京都府／67 歳）

◆ 悲しいことですが、ロシアのウクライナ侵攻や、中国の台湾に対する圧力、そして北朝鮮のミサイル発射など、争い事の多い年に思えます。こんな意味で、この漢字を選びたくはありませんでした。人々が穏やかに、幸せに過ごせる日々を望みます。（茨城県／45 歳）

◆ ロシアによるウクライナ侵攻が発生。その影響で、世界各国で戦「争」が意識されるようになってしまった。安倍晋三元首相の国葬を巡り、国葬反対派と国葬賛成派の「争」いがあった。大学入学共通テスト会場での刺傷事件は受験の競「争」の影響もあるだろう。（神奈川県／24 歳）

◆ 安倍元総理の銃撃事件やウクライナ侵略、旧統一教会の問題、安倍元総理の国葬をめぐる争いなど国同士の争いや国内での争いが報道されることが多かったから。また、争うことに良い意味はないことを改めて感じた一年だったから。（愛知県／11 歳）

6位「命」を選んだ理由

ロシアのウクライナ侵攻、知床での観光船や韓国・梨泰院の事故、通園バスでの置き去り、さらに安倍元首相や著名人の訃報など、日々のニュースの中で「命」を考えさせられる出来事が多かった。また、世界の人口が 80 億人を超え、新しい「命」について考えた人も。

◆ 戦争、元総理の死、交通事故死、車の中での園児の死と、たくさんの命が奪われた。戦争はいまだに続いている。（島根県／75 歳）

◆ ウクライナ戦争、安倍元首相、梨泰院事故など、人の命の重さ・尊さを私たちが見直すべき年でした。（香川県／69 歳）

◆ 今年も、命についてとても考えさせられる一年でした。終わりのない新型コロナウイルス。ロシアのウクライナ侵攻。安倍晋三元首相の銃撃事件。韓国の梨泰院ハロウィン雑踏事故など。世界各地で、様々な出来事により命を落とされた方々がたくさんいます。人はいずれ死へ向かっているものの、必要もなく残念な形で亡くなられた方をニュースで見るのも辛くなります。来年こそ、大切な「命」がひとつでも多く守られますように。（富山県／34 歳）

◆ ウクライナ情勢から始まり、知床遊覧船の沈没事故、安倍元総理やエリザベス女王など著名人の逝去、梨泰院事件、子どもの転落事故など「死」が目立った。世界の人口が 80 億人を超えるなど「生」もあり、命について改めて考えさせられた一年だった。（大阪府／30 歳）

◆ ウクライナとロシアの戦争が始まり多くの命が失われた。北海道の知床で遊覧船が沈没して乗員・乗客全員が死亡・行方不明になった。安倍元首相が銃撃され死亡した。幼稚園、保育園でバス置き去りや虐待などの事件があった。エリザベス女王が死去。コロナウイルス感染による死亡。多くの命がなくなったり命の大切さがわかったりすることが多かったから。（秋田県／17 歳）

7位「悲」を選んだ理由

ロシアのウクライナ侵攻や、安倍元首相銃撃事件、知床での観光船や韓国・梨泰院での事故、国内外の著名人の訃報など、「悲」しい出来事が多かった。また、値上げラッシュで「悲」鳴を上げた家計も。一方で、オリックス・バファローズの日本シリーズ優勝など「悲」願達成を喜ぶ声も。

◆ 今年はロシアによるウクライナ侵攻で幕を開けた。何の罪もない市民が無惨に殺害され、幼い子供を連れたお母さん達が避難生活を強いられ、世界中でエネルギーと食料不足を引き起こしている。実に悲しい気持ちでいっぱいです。それに知床での遊覧船事故、安倍元総理銃撃事件、韓国梨泰院での雑踏事故。どれも亡くなる必要のない人達が命を落とす事件が起こり、悲しい気持ちになります。
（京都府／69 歳）

◆ 安倍元首相のあまりに悲しい亡くなり方、ロシアによるウクライナ侵攻での悲惨な出来事、値上げラッシュでの家計の悲鳴ほか「悲」な事が多い一年だったから。（鳥取県／49 歳）

◆ 安倍晋三元総理が亡くなって悲しい。韓国の梨泰院の群衆雪崩（なだれ）事故でたくさんの人が亡くなって悲しい。食料品の値上げがあり、家計が逼迫（ひっぱく）されるのが悲しい。（和歌山県／26 歳）

◆ ウクライナ戦争、安倍晋三元総理の銃撃事件、エリザベス女王のご逝去、幼稚園送迎バス車内における置き去り事件、梨泰院圧死事故といった日本国内でも、世界の国々でも悲しい出来事が多々あったから。
（兵庫県／20 歳）

◆ オリックス・バファローズが悲願の初優勝とロシアがウクライナに攻撃し悲惨な状況になったからです。
（大阪府／17 歳）

8位「新」を選んだ理由

プロ野球では村上宗隆選手の日本人シーズン最多 56 本塁打と最年少での三冠王、佐々木朗希投手の最年少完全試合達成、北京五輪では冬季歴代最多 18 個のメダル獲得など、スポーツでの「新」記録が際立った。また、西九州「新」幹線開通、Ado さんの楽曲『「新」時代』のヒットも話題に。

◆ 北京オリンピックでメダル数新記録、羽生結弦選手の新天地、ヤクルト村上選手の三冠王、ホームランに関しては新記録、サッカーワールドカップではベスト 16 に残り、この先の「新しい景色」など。暗い話題が多かった中でも、次へ進むための嬉しいニュースがたくさんあったからです。（埼玉県／47 歳）

◆ 今年も「新」型コロナウイルスの影響を受けた年ではあったが、「新しい生活様式」を踏まえて様々な行事やイベントが復活するなど「新たな兆し」を感じた一年であった。サッカーW 杯でもドーハの歓喜と言われるような「新たな伝説」も生まれた。「新時代」に向けての新たな一歩を歩み出した年になったのではないか。（神奈川県／38 歳）

◆ 村上宗隆選手の日本人最多ホームラン数、最年少三冠王の「新記録」。佐々木朗希投手の連続奪三振、最年少完全試合の「新記録」。サッカーW 杯日本代表が強豪撃破で「新しい景色」。映画『ONE PIECE』の主題歌『新時代』 。（大分県／32 歳）

◆ 西九州新幹線の開業、ヤクルト村上選手によるホームラン新記録・三冠王の獲得、ロッテ佐々木投手による完全試合の最年少記録更新、大リーグ大谷選手の新記録など、様々な新しい出来事があったから。
（愛知県／28 歳）

◆ 野球の佐々木朗希選手が最年少で完全試合と連続奪三振の日本新記録を達成、村上宗隆選手が最年少で三冠王を達成。Ado さんの曲の『新時代』が流行（はや）った。エリザベス女王が亡くなられ新しい時代を迎えた。新成人の年齢が 18 歳に引き下げられたことなどからです。（佐賀県／17 歳）

9位「変」を選んだ理由

新型コロナウイルス「変」異株の流行、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢の「変」化、物価や為替の「変」動の一方で、昨年まではコロナの影響で中止されていたイベントが再開され、良い「変」化を感じる人も。

◆ 新型コロナ感染症もパンデミックから共生へ。ライフスタイルも人々の意識も「変」わりつつあると思ったからです。「変化、変革、変換」。明るい来年への願いも込めて選びました。（神奈川県／59 歳）

◆ 経済の面ではインフレの影響や為替変動が激しくみられ、物価高騰の波が押し寄せました。政治・宗教活動を巡る議論においても様々な闇が浮き彫りになりました。多方面で変化を感じる一年だと思います。（熊本県／40 歳）

◆ 昨年秋から主流となっているオミクロン株を中心に、変異株の拡大が続いたから。オミクロン株の派生型が次々と出現する度に、新規感染者の急増が見られた。その一方で、オミクロン株対応のワクチンや経口薬の開発、行動制限のない GW 及び夏休みなど、コロナ禍でも変化が見られた一年だったことも踏まえて選択した。（青森県／30 歳）

◆ ロシア・ウクライナの戦争、オリンピック、エリザベス女王・安倍元首相の訃報、円安による生活への影響など、世の中をガラッと変える出来事がたくさんあったから。（岡山県／26 歳）

◆ コロナの影響で中止されていたイベントが今年開催され、コロナとの付き合い方の変化を感じた。また安倍晋三元首相銃撃事件により旧統一教会と政界の繋がりが露呈し、閣僚の変更や内閣支持率の低下などの変化があった。さらにウクライナとロシアの戦争で世界情勢が変化し、日本での物価が変動する要因となった。ほかにも成人年齢の引き下げなどによる変化を感じたから。（愛知県／16 歳）

10 位「和」を選んだ理由

ロシアのウクライナ侵攻や、安倍元首相の銃撃事件などから、平「和」を願う声が多く聞かれた。また、コロナ禍での規制が緩「和」されるなど、「和」やかな日常を取り戻しつつある人も。

◆ ロシアのウクライナ侵攻の情報を見ると一日も早い平和を願うものです。また、コロナウイルス感染症の収束も厳しい状況にあり、早く「和やか」な日常を取り戻したいと願います。（青森県／73 歳）

◆ ロシアによるウクライナ侵攻で平和の意味を問い直す。コロナ禍の行動制限が緩まり街に和やかムード。きつねダンスやヌン活、なかやまきんに君の「ヤー！」で心和む。（大阪府／47 歳）

◆ ロシア、ウクライナ戦争により世界情勢が不安定になったから、世界平和を願ってこの漢字にしました。（山口県／32 歳）

◆ ロシアのウクライナ侵攻によりあらためて平和について考えたり、平和の大切さや日本で今平和に暮らせていることのありがたさを痛感したりした年。新型コロナウイルスの感染防止対策が緩和され、3 年ぶりに外国人の入国制限や緊急事態宣言・まん延防止措置などの発令といった行動制限なく、帰省や旅行・観光・有観客イベントができるようになるなど、少しずつコロナ禍前の日常を取り戻した年だったこと。（神奈川県／21 歳）

◆ 今年の 2 月にはじまったウクライナ侵攻。多くの人が犠牲になり、今こうしている間にも多くの人が苦しんでいます。「和」という漢字には「平和」や「協和」などの意味があります。ですから、世界中の全ての人に「和」を大切にしてほしいという思いでこの漢字を選びました。世界中が平和になりますように。（茨城県／13 歳）

2022 年「今年の漢字®」実施概要

募集概要

◆募集期間　2022 年 11 月 1 日(火)～12 月 5 日(月)

◆募集方法　・インターネット(「今年の漢字」特設応募サイト https://www.kanken.or.jp/kanji2022/)
・はがき
・応募箱(清水寺、書店、図書館など全国 1,500 箇所以上に設置)
・団体応募(郵送・電子データ)

◆募集内容　2022 年の世相を表す漢字一字と、選んだ理由

結果発表

◆発表日　2022 年 12 月 12 日(月)

◆発表場所　京都・清水寺
※揮毫により発表された漢字は、12 月 21 日(水) 18 時まで、清水寺本堂に展示。
その後、漢字ミュージアムに場所を移し、12 月 22 日(木) 11 時から展示します。

◆応募総数　223,768 票　(参考:2021 年は 223,773 票)

内訳		票数
個人応募	はがき	1,844 票
	インターネット	19,440 票
	応募箱	83,404 票
団体応募	郵送	51,836 票
	電子データ	67,244 票
合計		223,768 票

「今年の漢字」揮毫(きごう)について

・揮毫者　清水寺　森　清範　貫主　(きよみずでら　もり　せいはん　かんす)

・筆　牛耳兼毫筆(ぎゅうじけんごうふで)　※広島県熊野産
毛…白天尾(しろあまお)長さ 11.5 ㎝　直径 4.5 ㎝
軸…長さ 26 ㎝　(一番太いところの直径は約 5.5 ㎝)

・墨　奈良県産

・紙　黒谷和紙®(くろたにわし)(縦 150 ㎝×横 130 ㎝)　※京都府産
2019 年に 25 回目の発表を記念し、京都府の伝統工芸である黒谷和紙を使用することとしました。京都府染織・工芸課のご紹介により、黒谷和紙協同組合の職人の方々のご指導の下、将来、職人を目指す京都伝統工芸大学校の学生たちに手漉き(てすき)していただきました。

「黒谷和紙」とは
黒谷和紙は京都府綾部市黒谷町・八代町と、その周辺地域でつくられた紙です。
黒谷はおよそ 800 年前から住民が紙に携わる、紙漉きの里として栄えてきました。
良質な楮(こうぞ)を原材料として、職人により「手漉き」で、1 枚 1 枚が丁寧に
つくられます。黒谷和紙は丈夫で強く、長持ちするのが特長で、大正時代には
政府から日本一強い紙として認められ、昨今では、建築素材としても注目されています。

本行事は 12 月 12 日「漢字の日」の年中行事です

・「漢字の日」
漢字への関心・理解を深めると同時に、日本文化への認識を深める日として制定。
毎年、全国公募によりその年の世相を表す漢字一字を発表することで、一年を振り返りながら、漢字に込められた奥深い意義を認識する機会を創出します。

・ 12 月 12 日(いい字一字)
「いいじいちじ」と読み、毎年「いい字」を少なくとも「一字」は覚えてほしいという願いを込めています。

12 月 22 日(木)から「漢字ミュージアム」で 2022 年の大書「戦」を展示！

京都・祇園にある漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)では、1 階正面に最新の「今年の漢字」の大書を展示しています。

2022 年 12 月 22 日(木)からは、本日発表した 2022 年「今年の漢字」第 1 位の「戦」を 1 階正面に展示いたします。

URL： https://www.kanjimuseum.kyoto/

公益財団法人 日本漢字能力検定協会とは

日本漢字能力検定協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めることを理念に、「漢検」をはじめとする能力育成事業や、漢字文化への普及啓発、調査研究を行っています。1975 年に京都を本部として設立し、1992 年には当時の文部省より財団法人として認可されました。1995 年には「今年の漢字」を開始、その後、2013 年に内閣府より公益財団法人として認可されました。

過去の「今年の漢字®」と選定理由

1995年	「震」	阪神・淡路大震災や、オウム真理教事件、金融機関の崩壊などに「震えた」年。
1996年	「食」	O157食中毒事件や狂牛病の発生、税金と福祉を「食いもの」にした汚職事件の多発。
1997年	「倒」	金融機関など経営破たんの続出。サッカー日本代表が並み居る強豪を倒してFIFAワールドカップ初出場決定。
1998年	「毒」	和歌山のカレー毒物混入事件や猛毒ダイオキシン、環境ホルモンなどが社会問題に。
1999年	「末」	世紀末。東海村の臨界事故や警察の不祥事など信じられない事件が続発して、「世も末」と実感。
2000年	「金」	シドニーオリンピックでの日本人選手の金メダル獲得や、南北朝鮮統一の実現に向けた“金・金”首脳会談など。
2001年	「戦」	米国同時多発テロ事件で世界情勢が一変。対テロ戦争、炭疽(たんそ)菌との戦い、世界的な不況との戦いなど。
2002年	「帰」	日本経済がバブル前の水準に「帰り」、昔の歌がリバイバルされ大ヒット。北朝鮮に拉致された5人が24年ぶりに帰国。
2003年	「虎」	阪神タイガース18年ぶりのリーグ優勝、「虎の尾を踏む」ようなイラク派遣問題など。
2004年	「災」	台風や地震などの記録的な天災や、イラクでの人質殺害や子どもの殺人事件など、人災が多発。
2005年	「愛」	紀宮様のご成婚、「愛・地球博」の開催、各界で「アイちゃん」の愛称の女性が大活躍。
2006年	「命」	悠仁様のご誕生に日本中が祝福ムードに包まれた一方、いじめによる子どもの自殺など、痛ましい事件が多発。
2007年	「偽」	身近な食品から政界、スポーツ選手にまで次々と「偽」が発覚して、何を信じたら良いのか、わからなくなった。
2008年	「変」	日米の政界に起こった変化や世界的な金融情勢の変動、食の安全性に対する意識の変化など様々な変化を感じた年。
2009年	「新」	政権が交代し新内閣が発足、アメリカでも新大統領が就任、裁判員制度やエコポイント制度などの新しい制度も始まった。
2010年	「暑」	猛暑日の連続で熱中症にかかる人が続出、地球温暖化の警鐘を感じた。
2011年	「絆」	東日本大震災など大規模災害の体験から、身近な人との絆の大切さを再確認した年。
2012年	「金」	金環日食など天文現象の当たり年、ロンドンオリンピックで日本史上最多のメダル獲得など数多くの金字塔が打ち立てられた年。
2013年	「輪」	2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催、富士山の世界文化遺産登録など、日本中が輪になって歓喜に沸いた年。
2014年	「税」	消費税率が17年ぶりに引き上げられ、「税」について考えさせられた年。
2015年	「安」	戦後70年の節目の年に安全保障関連法案の採決を巡り、国論が二分した。
2016年	「金」	リオオリンピックの日本人選手の「金メダルラッシュ」と4年後の東京オリンピックへの期待が高まった年。
2017年	「北」	「北」朝鮮ミサイルの「北」海道沖落下や九州「北」部豪雨などの災害から、平和と安全の尊さを実感した年。
2018年	「災」	北海道・大阪・島根での地震、西日本豪雨など、日本各地で起きた大規模自然「災」害により、多くの人が被「災」した年。
2019年	「令」	新元号「令」和に新たな時代の希望を感じた一年。法「令」改正、法「令」順守、警報発「令」としても使われた年。
2020年	「密」	新型コロナウイルス感染症が日本を含め世界的に流行。日々の活動が制約され、「密」という漢字一字を意識し続けた年。
2021年	「金」	コロナ禍で開催された東京オリンピックでの日本人選手最多「金」メダル獲得により、世の中が明るく照らされた年。

≪「今年の漢字」に関するお問い合わせ先≫
公益財団法人日本漢字能力検定協会 「今年の漢字」係
メール：planning@ic.kanken.or.jp

「黒谷和紙」は黒谷和紙協同組合の登録商標です。
「今年の漢字」「漢字ペディア」「漢検」は登録商標です。